

須賀先生性處女膜閉鎖ニ因スル腔血腫ノ一例

(七) 閉鎖處女膜切開後ニ於ケル腔壁ノ萎縮状態。

以上ノ七項ニ關シ嘗テ吾人ノ發表シタル見解ハ（本誌第三二九號、同第三三二號、近畿婦人科學會雜誌第四號、同第五號ノ須賀論文參照）本例ノ實驗ニ因リ、何等之ヲ改ムルノ必要ヲ認メザル者ナリ。

擲筆スルニ當リ余ハ恩師安藤教授ニ對シ謹ンデ滿腔ノ謝意ヲ表ス。

（癆生十八日稿）

◎ 正 誤

前號横川君論文正誤左ノ如シ

正

經驗ニ就キ

傾ケルノ鱗片

（第百十八表）

傾ケルモノノ、鱗片

（第百十九表）

人腸液

前ニ試験

人工腸液○・一%

膽汁ヲ注 タル

誤

經驗ニ基キ

傾ケルモノノ、鱗片

（第百十八表）

人腸液

前ニ試験

人工腸液○・一%

胆汁ヲ注加シタル

正

（同上同試験）

○・五・一

胃及腸液ノ

モノニ於テ

得ルモノ、如シ

實行力

誤

（同上日試験）

○・〇・五・一

胃液又ハ腸液ノ

モノ、中ニ於テ

得ルモノナルチ知レリ

穿行力

頁

一

八

一

一〇

一五

二三

二三

頁

一

七

六

三

三

四

頁

二六

二九

三〇

一〇

一

一

行

八

一

六

一

七

誤

（同上同試験）

○・五・一

胃及腸液ノ

モノニ於テ

得ルモノ、如シ

實行力

正

（同上日試験）

○・〇・五・一

胃液又ハ腸液ノ

モノ、中ニ於テ

得ルモノナルチ知レリ

穿行力